

# 呉市阿賀地区まちづくり計画書



大空山からの阿賀市街・休山の眺望

平成21年3月

呉市阿賀まちづくり推進協議会

# 目 次

---

1	まちづくり計画策定の経緯	・・・・・・・・・・	P 1
2	阿賀地区の概要	・・・・・・・・・・	P 2
3	阿賀地区の現状と課題	・・・・・・・・・・	P 6
4	阿賀地区住民の意識調査結果	・・・・・・・・・・	P 8
5	まちづくり計画の概要	・・・・・・・・・・	P 1 1
6	事業スケジュール	・・・・・・・・・・	P 1 4
7	推進体制	・・・・・・・・・・	P 1 8
8	その他（計画策定経過，策定委員名簿）	・・・・・・・・・・	P 1 9

## 1 まちづくり計画策定の経緯

---

阿賀地区には、自治会、女性会、老人クラブ、子ども会、体育協会など約20の団体があり、これまでに活発な活動を行ってきました。

平成18年2月に、市民協働の推進母体として、阿賀地区の主な15の団体により「阿賀まちづくり推進協議会」（以下「まち協」という。）を立ち上げ、市の補助金制度を活用し、各種団体の活動を支援してきました。

平成20年3月に呉市が「ゆめづくり地域協働プログラム」を策定し、まちづくり推進協議会などの住民自治組織との協働による「地域協働型」のまちづくりを積極的に推進していくこととなりました。

これに基づき、平成20年度に阿賀地区のまちづくり計画を策定することになり、ワーキンググループにおいて作業を開始しました。阿賀の文化や特色を活かし、各種団体の活動で得られた人と人とのふれあいを大切に、「地域と住民の結びつきが強く、お互いが協力し合えるまち」を目指した計画づくりを行い、ここにまとめることができました。

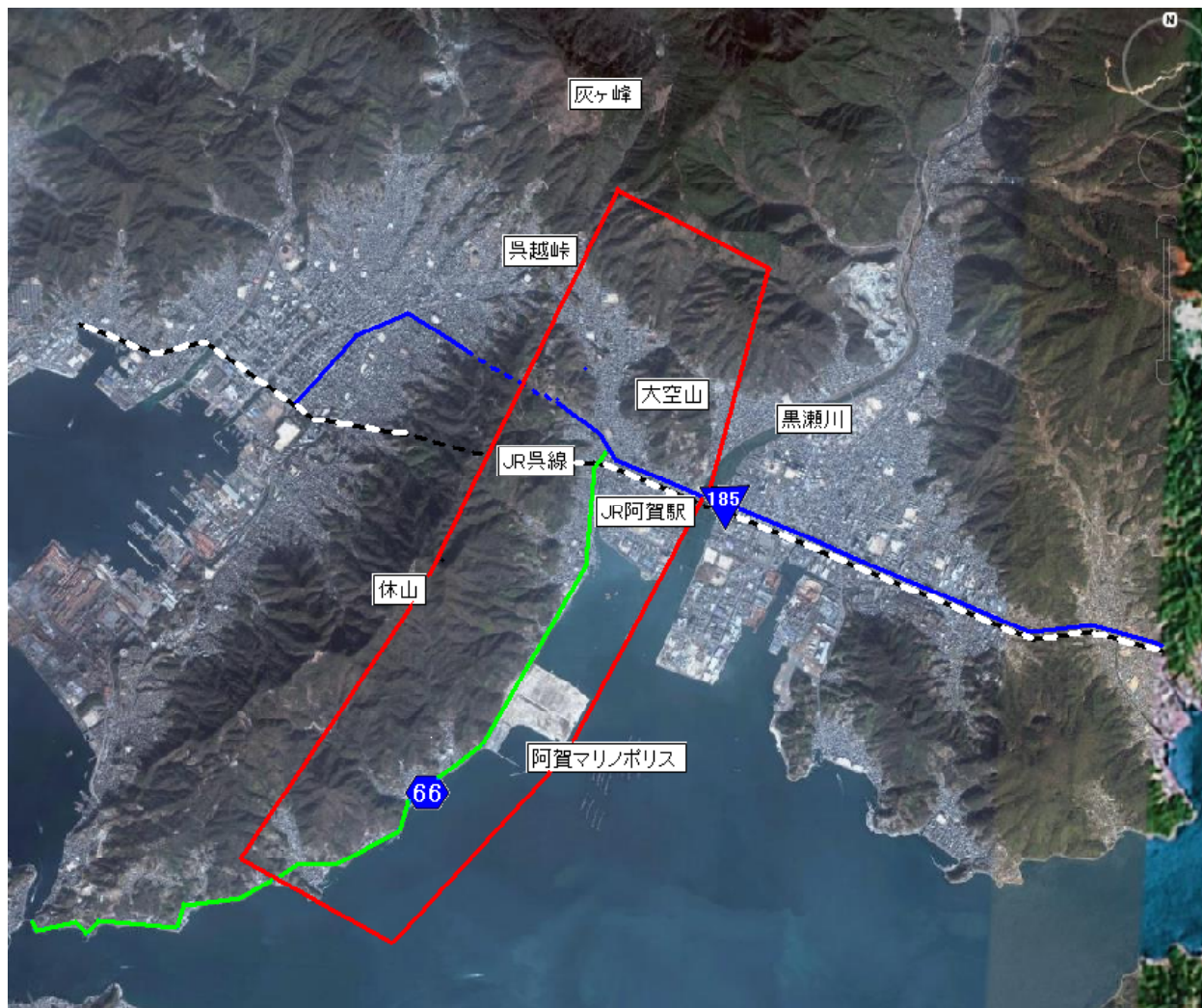
地区住民の皆様には、この計画にご理解をいただき、安心・安全で、阿賀に住んでいて良かったと思われるようなまちづくりへの取り組みに、ご協力いただきますようお願いいたします。

## 2 阿賀地区の概要

### (1) 地理

阿賀地区は呉市のほぼ中心に位置し、南北に細長い形をしています。北は灰ヶ峰、東は黒瀬川、西は休山に囲まれ、南は瀬戸内海に面しており、自然豊かな地形です。

一方で、山側には急傾斜地が多く、海側は埋め立て地が広がっているため、災害には脆弱な地形となっています。



## (2) 人口

阿賀地区の人口は、平成21年1月末現在で、16,624人、世帯数は7,685世帯です。これは中央地区を除くと広、昭和地区に次ぐ規模です。

男性7,855人、女性8,769人、高齢化率は29.5%です。

近年、国道185号沿いを中心にマンションの建設が続いており、転入・異動者が増加しています。

また、地区内に小中高等学校、高専、大学の文教施設が集中しており、比較的若者は多いと思われませんが、地区外からの転入者も多く、これらの若者は就学や就職を機に転出していくと推測されます。

## (3) 交通

ほぼ中心をJR呉線と国道185号が東西に横断しており、北は呉越峠を通る市道が、南は県道66号がそれぞれ接続しています。また、平成14年に開通した休山新道（トンネル）により呉市中心部への利便性が格段に向上しました。

一方で、中心部以外での交通網は脆弱で、特に古くからの住宅地や集落では道が狭いなどの傾向が顕著です。また、交通事故が比較的多い地域であり、休山新道東口から広大橋までの区間にある交差点は、県内でも交通事故が多発する箇所となっています。



休山新道交差点付近

## (4) 文教施設

阿賀地区には、小学校から大学までの各種学校が集中しており、特に高等教育機関として、「呉工業高等専門学校」「呉大学」「県立呉高等技術専門学校」の3校が存在しています。

また、地区内の教育機関などが連携して、阿賀学園地域教育連携協議会「アカデミア」を構成しており、他地域でも類を見ない取組が進められています。



アカデミア発会式・音楽会

## (5) 歴史・文化

阿賀の語源は、かつて香津（かがつ）と呼んでいたのを、つを抜いて加賀と呼び更に阿賀に変化したとする説があります。

もともと平地の少ない地域でしたが、江戸時代以降埋め立てが進み、平地が開拓されました。

明治以降は、呉越峠の掘削や呉線、市内電車の開通などで陸上交通が整備され、呉市中心部と広地区をつなぐ交通の要衝として発展しました。古くから漁業が盛んであり、海上交通が発展していたため、海に関係する神社や遺跡、文化が数多く現存しています。



神田神社社殿

## (6) 産業

農業や漁業といった一次産業は規模が小さく、また後継者の問題などから縮小傾向にあります。工業などの二次産業は各地域に分散しており、中規模から小規模なものが多いと思われます。ただし、阿賀マリノポリス地区においては将来、大規模施設などが建設される可能性があります。

飲食店などの三次産業は全体的に小規模で、国道185号沿線に集中しており、集積された商店街は形成されていません。



阿賀漁港風景

## (7) その他

### ①東広島・呉道路

山陽自動車道（東広島市高屋町）から国道185号（阿賀）までをつなぐ自動車専用道路が建設中です。山陽自動車道への連絡時間を、現在の70分から40分に大幅に短縮できるほか、広島空港や新幹線、呉港、阿賀マリノポリスへの接続などの利便性が向上します。

平成25年頃に全線開通予定（暫定2車線）  
総延長32.8km



阿賀IC予定地付近

## ②阿賀マリノポリス

阿賀南7丁目付近の海域を埋め立て、山陽自動車道から瀬戸内海の主要航路への連結点となる立地上の特性を活かし、流通・交流拠点地区として整備が進められた埋立地。埠頭を備えた物流拠点や港湾施設などが整備される予定。

現在、一部地区を分譲中。

平成18年11月竣工

埋立地面積46.4ha



阿賀マリノポリス

## ③マリノ大橋（仮称）

阿賀マリノポリス地区と東広島・呉道路（阿賀IC）をつなぐ連絡橋。阿賀マリノポリス地区から阿賀IC（予定地）までの所要時間を、現在の10分から3分に短縮できるほか、従来の県道66号を迂回するため交通事情が大幅に改善され、大型車・特大車による高速・大量輸送が可能となります。

平成23年3月頃完成予定



建設中のマリノ大橋

## ④広第2大橋

阿賀南1丁目から広多賀谷1丁目を結ぶ延長600mの橋で、国道185号の交通を補完するとともに、広地区の貨物など人・物の交通を円滑にし、地域生活をより豊かにより快適にすることを目的としています。

平成18年度工事着工

平成23年度供用開始予定



建設中の広第2大橋

### 3 阿賀地区の現状と課題

---

#### (1) 現状

平成14年3月に休山新道が開通し、交通状況が大きく変わりました。それまでは、呉越峠を經由し市中心部へつながっていましたが、休山新道のトンネルで直接結ばれ利便性が高まりました。それに伴い、車両の通過量が増加しました。

また、東広島呉道、広第2大橋、マリノ大橋の建設が進んでおり、道路の結節点、通過点となってきています。

近年マンションの建設が進み、都市型のまちへと変わりつつあります。大規模なマンションでは、従来の自治会から独立して独自の連絡区が作られる傾向にあります。

少子高齢化に加え、子ども会や老人クラブ、自治会などの地域諸団体への加入率が低下しています。

#### (2) 課題

都市化の進展により、地域への関心や愛着心、郷土愛といった意識がうすれ、地域活動への参加意欲も減退していく傾向にあります。地域の団体では、リーダーや活動している人が限定され、特定の人とその役割を担っている状況もあります。

こうしたことから、今後のまちづくりの原動力となるコミュニティ活動を活性化させ、住民の参加を促進させるための意識啓発や情報の提供を行うとともに、支え合う連帯感のある地域社会を形成する環境づくりが必要となっています。



(3) 各団体により実施されている主な活動

事業名	実施時期	主な主催団体
町民体育大会	4月	体育協会
今昔子どもふれあい創作大会	6月	子ども会育成協議会, 老人クラブ連合会, 女性会, 民児協
交通安全街頭キャンペーン	5, 7, 9, 12月	交通安全推進協議会, 安全協会
ふれあい交流	6, 1月	老人クラブ連合会
青少年街頭巡視	8, 12, 3月	補導員連絡協議会
スポーツ大会	7, 9, 10, 1, 2月	体育協会
敬老会	9月	社会福祉協議会
文化祭	9月	文化連盟
給食配膳事業	年間	婦人ボランティア, 民児協
いきいきサロン	年間	各自治会, 民児協
人権啓発活動	年間	人権教育・啓発推進協議会
高齢者, 赤ちゃん家庭訪問	年間	民児協
防犯・防災啓発活動	年間	安全会議
ウォーキング, 体力測定	年間	健康づくりのための運動普及推進協議会

## 4 阿賀地区住民の意識調査結果

(1) 平成17年9月に実施された「呉市民意識調査」から

合併後の新呉市のまちづくりを進めていく上で重要と思うことを、次の中から1つあげてください、の設問に対する回答

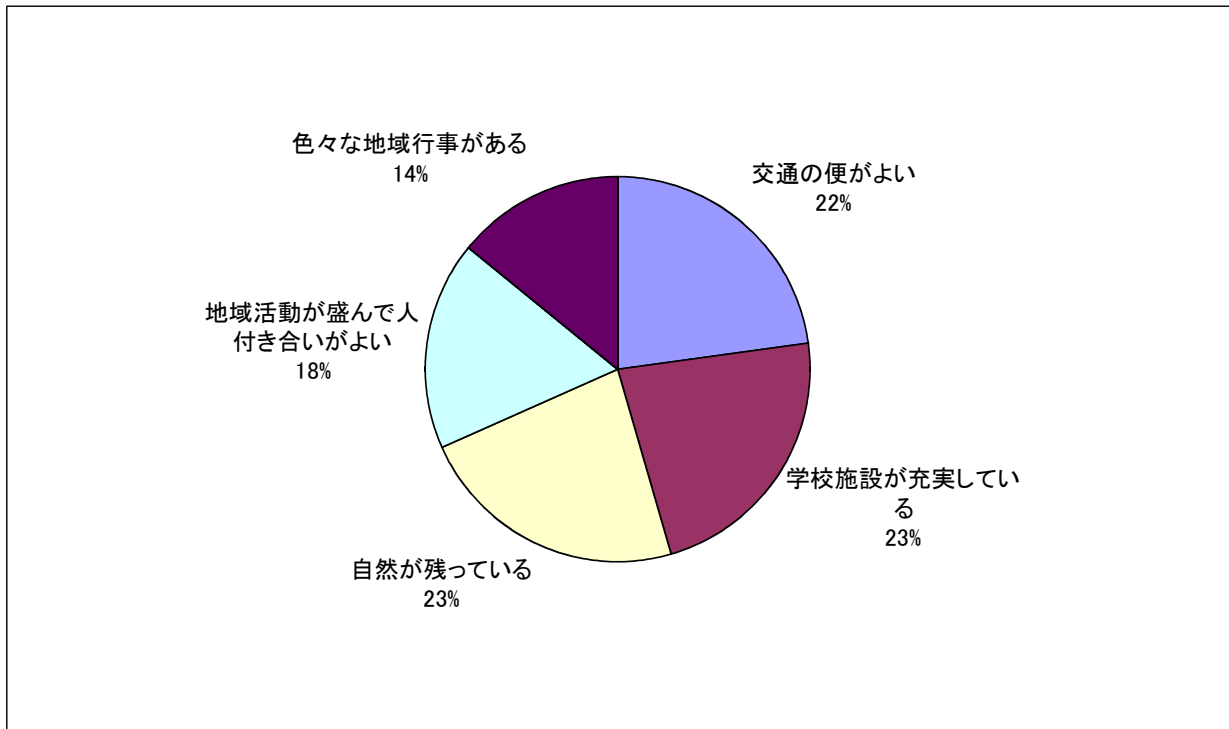
	効率的な行政運営と行財政改革	各地域の個性や特徴の充実と情報発信	市域の一体化・市民交流の促進	市民協働による地域自治や身近なまちづくりの推進
全体	26.1%	22.3%	19.8%	17.8%
阿賀	23.2%	31.9%	14.5%	11.6%

◎全体では2位であった「各地域の個性や特徴の充実と情報発信」が、阿賀地区では31.9%と高く1位でした。阿賀の個性や特徴を大切に充実させたいという思いが現れています。

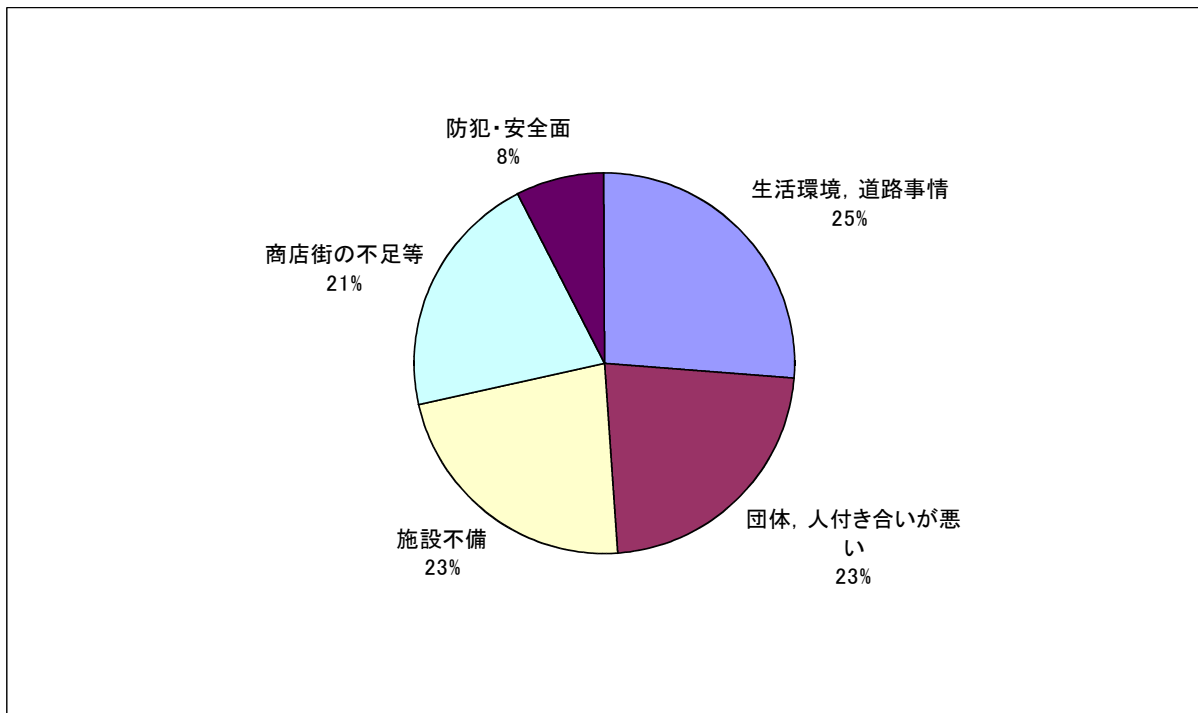
しかし、「市民協働による地域自治や身近なまちづくりの推進」を上げた人は11.6%で、全体の17.8%よりも若干低くなっていました。まちづくりへの関心がやや低い傾向があります。

(2) 平成20年9月にまち協が阿賀支所内に設置した「まち協コーナー」へ寄せられた意見

阿賀の良いと思うこと（回答数57）



阿賀の悪いと思うこと（回答数80）



(3) 平成20年11月にまち協が実施した「まちづくり講演会」でのアンケート結果

「あなたは、まちづくりで、どんなことをしたらよいと思いますか。また、どんなことなら参加できますか。」

項 目	どんなことをしたら よいか		どんなことなら参加で きるか	
	回答数	%	回答数	%
ふれあい事業 (夏祭り, 収穫祭, スポーツ大会など)	74	21.0	75	26.6
高齢者福祉 (交流・生きがい対策など)	74	21.0	50	17.5
環境関係 (環境美化運動, 温暖化防止対策など)	62	17.6	61	21.3
災害防止 (地域が連携した防災対策など)	53	15.1	35	12.2
文化事業 (音楽会, 演劇, 映画上演会など)	43	12.2	31	10.8
歴史保存 (歴史史跡の調査・活用など)	26	7.4	22	7.7
情報発信 (情報誌, ホームページの運営など)	19	5.4	12	4.2
その他	1	0.3	0	0
合計	352		286	

## 5 まちづくり計画の概要

---

- (1) 協議会名：阿賀まちづくり推進協議会
- (2) 策定年月日：平成21年3月12日
- (3) 目標年度：平成25年度を第1次目標年度とする。(計画策定後5年)  
(第2次目標年度として平成30年度を予定)

### (4) まちづくりの考え方

この計画は、阿賀地域の問題や課題の解決方策などを盛り込む住民自治の計画です。阿賀地域のビジョンを明確にし、活動目標を立て、それに添った事業を展開することで、地域力の再生を図ります。

各種団体の既存事業は継続しながら、これまでに行われていなかった事業をまち協で新たに実施していきます。

### (5) キャッチフレーズ

## 「みんなで盛り阿賀っぺいこう！」

地域の人たちがともに汗を流し、共感し、感動することで、心がかようまちをつくることを目指すものです。かつて、阿賀のまちは「人情深いまち」と言われていましたが、徐々にそういう風情が薄れつつあるようです。住民どうしの絆を強め、地域力を結束して、地域で支えるまちづくりを目指します。

## (6) 活動目標及び事業内容

### ① 出会い、ふれあいの創出

人々がともに集い、協力し合うことでお互いを知り、行事を通じて一体感を味わう。

#### ア ふれあい祭りの開催（メイン事業）

（新阿賀音頭の復活、阿賀発祥のソーラン踊りや若者による音楽演奏などの実施）

#### イ 大空山の花見大会

大空山の桜を大切に、花見の時期の行われている登山を兼ねた花見を、地域全体で実施する。併せて、東屋の整備などを実施する。

#### ウ 学校との連携

まち協の各種団体が実施する事業について、地区内の小・中・高校・アカデミアの学生と連携を図る。

#### エ 地域活動への参加促進のための説明会の実施

マンション住民等に地域活動に参加してもらえよう、地域の各団体と協力し、まちづくり事業を初め各団体の活動を説明する。

#### オ 阿賀を語ろう会の実施

阿賀地区では、これまで各種団体の活動は活発に行われてきたが、団体同士での交流や連携は十分とはいえない。各団体の会員が一同に会し、阿賀のまちづくりについて忌憚ない意見を交換する場を設定する。

### ② 心ゆたかに

音楽や演劇、絵画に親しむことで、感動を味わい、心ゆたかな時間を過ごす。

#### ア 音楽演奏会、演劇鑑賞会の開催

公民館で音楽会や演劇鑑賞会を開催し、子どもや障害者等、日頃音楽や演劇の鑑賞の機会の少ない人にも来ていただく。

#### イ 市民ギャラリーの開設

公民館・支所内に常設の市民ギャラリーを開設し、幼稚園から大学生、一般の方の作品を気軽に展示する。また、阿賀にゆかりのある歴史資料等を収集し、展示する。

### ③ ふるさと再発見

阿賀の歴史やまちづくりの移り変わりを知り、郷土愛をはぐくみ、これからも住み続けたいという気持ちを育成する。

#### ア 歴史研究会の発足

郷土史に興味のある人材を公募し歴史研究会を組織し、阿賀の名所・旧跡を調査し資料を収集する。

#### イ 探訪マップの作成

阿賀の見所を満載したマップを作成し、歩いて回る人に広く利用してもらおう。

#### ④ 防災・環境への取り組み

地域の防災組織の充実を図り、安心安全なまちづくりを目指す。また、環境問題に対しては、自分の身近なところでの環境美化や地球環境保全の事業を行う。

##### ア 自主防災組織の充実

各地区での新たな自主防災組織の結成を促進し、定期的に防犯・災害時を想定した取り組みを行う。

##### イ フラワーロード事業の実施

道路沿いの沿道で、地域住民に花を栽培してもらい、景観の向上を図る。

##### ウ 「エコの日」事業の実施

地球温暖化防止への取り組みとして、町民全員で省エネを行う。

##### エ 不法投棄防止

地区内のゴミの不法投棄を防止するため、不法投棄情報を収集し処分すると共に、不法投棄をさせない取り組みを行う。

#### ⑤ みんなで考え、支え合う

地域の住民に情報発信を行う。また、まちづくりを支えるマンパワー強化のため、人材を育成する。

##### ア 情報誌「阿賀まちだより」の発行

##### イ ホームページの運営（随時更新）

##### ウ 人材育成講座「盛り阿賀っていこう塾」の開催

将来の地域活動に積極的に参画してもらおうボランティアを育てる講座を開設する。

##### エ 既存事業との連携と交流

各種団体が行っている事業で、まちづくり推進協議会が支援したり、団体間で協力した方が良いものについて調整を行う。

## 6 事業スケジュール

テーマ	事業内容	実施項目	スケジュール					
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度以降	
1. 出会い、ふれあいの創出	(1)ふれあい祭りの開催	①開催時期、会場の調整	→	→	→	→	→	
		②実行委員会の立ち上げ	→	→	→	→	→	
		③各団体との調整	→	→	→	→	→	
		④準備、実施	→ ◎7月	→ ◎予定	→ ◎予定	→ ◎予定	→ ◎予定	
	(2)大空山の花見大会	①東屋の整備			◎予定 利用			→
		ア 現地調査、設計	→					
		イ 補助金申請		→				
		ウ 施工		→				
		②花見大会の開催			◎予定	◎予定	◎予定	◎予定
		ア 実行委員会、企画・立案		→	→	→	→	→
		イ 各団体との調整		→	→	→	→	→
		ウ 開催準備		→	→	→	→	→
	(3)マンション住民への説明	①住民代表者、地元団体との調整		→				
		②説明会の実施	◎予定	→	→			
	(4)阿賀を語ろう会	①参加者・団体の募集、広報			→	→	→	→
		②開催			◎予定	◎予定	◎予定	◎予定

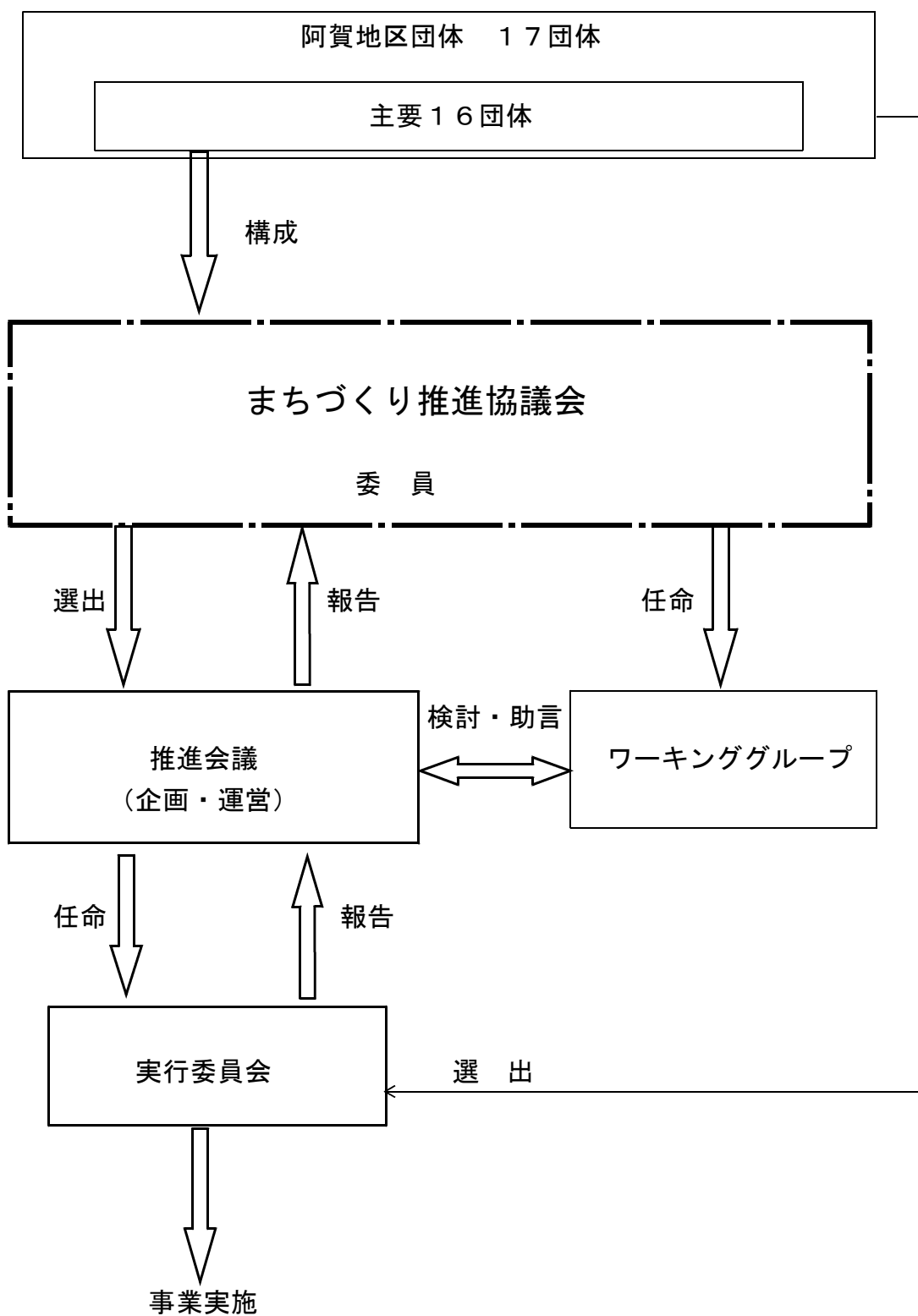


テーマ	事業内容	実施項目	スケジュール				
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度以降
2. 心豊かに	(1)音楽演奏会の開催	①開催時期・内容の調整	→	→	→	→	→
		②広報	→	→	→	→	→
		③開催	◎予定	◎予定	年2回程度実施予定		
	(2)市民ギャラリー	①展示計画の作成	→				
		②広報, 募集	→	→	→	→	→
		③展示		←	←	←	←
3. ふるさと再発見	(1)歴史研究会の発足	①メンバーの募集		→			
		②勉強会の実施		予定	→	→	→
		③資料の作成・活用方法の検討			→	→	→
		④活用事業の立案, 実施			予定	予定	予定
	(2)探訪マップの作成	①制作委員会の設立	→				
		②現地調査	→				
		③レイアウト検討	→				
		④印刷		◎予定			
		⑤広報		随時			→

テーマ	事業内容	実施項目	スケジュール					
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度以降	
4. 防災・環境への取り組み	(1)自主防災組織の充実	①各地区での組織化促進		→	→	→	→	→
		②自主訓練の促進		→	→	→	→	→
	(2)フラワーロード事業	①実行委員会立ち上げ		→				
		②スケジュール立案		→				
		③機材の購入		→	→	→	→	
		④地元への説明・実施			予定	→	→	→
	(3)エコの日事業	①実行委員会の立ち上げ		→	→			
		②事業の企画・広報		→	→	→	→	→
		③実施			◎予定	◎予定	◎予定	◎予定
	(4)不法投棄防止	①通報体制整備		→				
		②現地調査実施			予定	→	→	→

テーマ	事業内容	実施項目	スケジュール				
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度以降
5. みんなで考え、支え合う	(1)情報誌	①発行	←年2回程度→	←年2回程度→	←年2回程度→	←年2回程度→	←年2回程度→
	(2)ホームページの運営	①データの更新	随時				→
	(3)人材育成講座の実施	①検討会		→			
		②講座の企画		→		→	
		③開催準備		→◎予定		→◎予定	
	(4)既存事業との連携と交流	①各団体との意見交換		→			
		②実施		随時			→

## 7 推進体制



## 8 その他

---

### (1) まちづくり計画策定経過

平成20年7月	まち協総会で「まちづくり計画」策定を決定
9月	ワーキンググループを結成 ワーキンググループ会議で計画案作成作業開始 (3月まで10回の開催) まち協総会で作業の中間報告 支所内にまち協コーナー「みんなの意見掲示板」を設置 阿賀まちだより第1号の発行(阿賀地区全戸配布広報誌)
11月	まちづくり講演会開催(講演, シンポジウム, コンサート) 阿賀まち探訪の実施(タウンウォッチング)
12月	まち協ホームページの開設 阿賀まちだより第2号の発行
平成21年1月	阿賀まちだより第3号の発行
2月	阿賀まちだより第4号の発行 先進地視察(廿日市地区コミュニティ推進協議会)
3月	ワーキンググループで計画案完成 まち協総会に報告・検討・承認 阿賀地区住民, 関係団体への説明・広報を実施

## (2) 策定委員名簿

## まちづくり推進協議会委員

氏名	役職	団体名
加藤 忠二	会長	阿賀地区自治会連合会 阿賀地区青少年補導員連絡協議会
山田 公三	副会長	第13区民生委員・児童委員協議会
奥原 子	副会長	阿賀女性会
鈴木 孝雄	会計	阿賀地区老人クラブ連合会
梶島 毅	監査	阿賀地区交通安全推進協議会
梶島 宏身	監査	阿賀地区健康づくりのための運動普及推進協議会
奥原 信也	委員	阿賀体育協会
崎村 信治	委員	阿賀子ども会育成協議会
中島 敏光	委員	阿賀地区社会福祉協議会
上田 尚志	委員	広交通安全協会阿賀支部
佐々木 晃	委員	阿賀文化連盟
土井 茂人	委員	阿賀地区人権教育・啓発推進協議会 阿賀地区安全会議
大下 朝子	委員	阿賀婦人ボランティア協議会

## ワーキンググループメンバー

氏名	団体名
加藤 忠二	阿賀地区自治会連合会会長
鈴木 孝雄	阿賀地区老人クラブ連合会会長
丸下 利昭	阿賀地区老人クラブ連合会副会長
中山 吉信	阿賀体育協会副会長
中原 泰	第13区民生委員・児童委員協議会副会長
岩田 多恵子	阿賀女性会副会長
尾川 伸一	阿賀子ども会育成協議会副会長
山岡 俊一	呉工業高等専門学校 環境都市工学科 助教
上本 雄也	呉工業高等専門学校 専攻科 1年生
伊東 奈津	呉大学 看護学部 1年生
塚越 春季	呉大学 看護学部 1年生

呉市阿賀まちづくり推進協議会

URL:<http://agamachi.town-web.net/>

事務局 呉市阿賀市民センター内

〒 737-0003

呉市阿賀中央6丁目2-16

T E L (0823) 73-5252

F A X (0823) 71-5571

E-mail : [agasis@city.kure.lg.jp](mailto:agasis@city.kure.lg.jp)

阿賀地区の行事・みどころ



大空山公園の桜



お漕船



宮尾彦五郎の石碑



神田神社の太鼓祭り



サルスベリの大木



とんど祭り（冠崎，大入）



